

令和元年度 議会報告会

意見交換概要 テーマ「防災について」

令和元年11月8日(金)開催

項目	要 旨
災害時の対応	市の職員に県道63号線の電線に杉の木が倒れていることを伝えたら、そこは県道なのでと言われた。通常の行政区分はわかるが、県へ至急連絡するなど対応した方が良いと思う。
	ブルーシートや土のうの備蓄状況はどうなっているか。早い対応をしてほしい。
	危機管理課・消防・福祉の対応がバラバラなので、指揮命令系統の一体化をしてほしい。
	災害が発生した時、東電が対応するところは市では対応できないと言われた。その後、東電の対応ではあるが、状況を伝える内容がホームページで公表された。最初からそのような対応をすれば、市民感情がこじれなかったのでは。
	市民が木などをちゃんと管理することなどを、市が指導してほしい。また、道路の木も積極的に伐採するなどしてほしい。議員からも所有者へ伐採するよう言ってほしい。
	市の職員が現場に来ない。落ち着いてから、危機管理課の人に来てもらい、意見交換をしたが、東電・消防・地元に住んでいる職員から情報収集をしていたとのことで、みんな他力だった。
	空港が陸の孤島になってしまったため、交通の面を考えてほしい。
	停電で信号が消えてしまった際、市から警察へ交通整理を依頼してほしい。
	三里塚小学校が拠点となり、給水所を設置してくれた。市の職員がきちんと対応してくれた。
	市が縦割りなどところもあるが、今回のように事前に台風が予想されるときは体制をつくらないといけない。
	ブルーシートを市へ求めたが、店へ買いに行くように言われた。しかし、夕方に支給されるという情報があった。市の対応が冷たい。
	朝4時半に市へ電話したら対応してくれたため嬉しかった。市は人手が足りないなので、人員削減すべきでない。正規・非正規では心構えが違うので、すべて正規職員にすべき。
	市役所の職員からヒアリングがあったが、聞き方がただ「被害状況を教えて」だけで聞き方もわかっていない職員がいた。
	いつまで台風対応の反省をしているのか。反省と課題を明確にし、広報なりたへ載せてほしい。対策の計画を年内に発行してほしい。
	台風19号の時、インターネットニュースのトップで成田市の警戒レベルの情報がいつ開いても出ていた。台風19号への対策を取っているかと連絡したら、その日の夕方に市のホームページのトップで被害を減らす方法が載っていた。
利根川決壊の情報が入ったとき、市のどこが危ないのか、もう少し細かくアナウンスしてほしい。	
もっと市が能動的に動き、国の情報に基づき、成田市ならではの情報を発信すべき。	
停電の時、共同利用施設でトイレが使えることをもっと広報してほしい。	

令和元年度 議会報告会

意見交換概要 テーマ「防災について」

令和元年11月8日(金)開催

項目	要 旨
災害時の対応	広報車の音が聞こえなかった。
	西中学校のところの信号がずっと消えていた。
	信号が停電している箇所について、なぜ一部だけ対応し、対応しない箇所があるのか。少しの雨でも冠水してしまうのはどうにかならないのか。
	高齢者は給水をしてもらっても家まで運べないので、地区の中学生の力を借りるのはどうか。
	共同利用施設の井戸ポンプは一般家庭の発電機では対応していなかった。常時使用できる発電機を設置しておくべき。
	市から地域へ聞き取りが大事。
	台風の影響、停電により電話が通じなかった。支所と事務所がつながるような設備はあるか。防災行政無線は聞こえない。市からの情報発信について災害後、どのように検討されたのか。
防災行政無線	防災行政無線が聞き取れない。富里市では防災ラジオを配布されていると聞いた。
	聴覚障がい者や発話に障がいのある方に対する対応はどうしているか。匝瑳市は文字で表示される受信機がある。
	今の位置が最適なのか見直してほしい。個別で地区でも発信できるようになっているようだが、市で鍵を持っていて、貸してくれない。
	市からの一方的な情報。案として、ラジオを聞ける受信機を配布し、災害の時は自動的にスイッチが入り、情報が流れてくるような仕組みはどうか。市全体のエリアで電波を受信できるようにする。全戸に配り、年に1回交換する。また、住民側から情報を発信するような、アマチュア無線を活用する。何人かでも聞いていれば、伝言ゲームで伝わっていくと思う。
	日本語だけではなく、英語や中国語でも放送した方が良い。
	話すスピードがあまりにもゆっくりすぎる。
自主防災組織	自主防災組織が少ない。危機管理課の姿勢が受け身である。住民主体だからと言うが、強力なサポートがないと情報が集められない。
	自治会が自主防災組織になっているが、地域での組織もできていない、高齢者がどこに住んでいるかもわからないところもある。自治会に加入していないところもある。
	自主防災組織を設立しても食糧がもらえない。
	非常用発電機の補助をしているが、発電機がしっかり作動するかについても指導してほしい。

令和元年度 議会報告会

意見交換概要 テーマ「防災について」

令和元年11月8日(金)開催

項目	要 旨
避難所・ 避難所運営委員会	中央公民館で市の職員が避難者に対し、住所と氏名を聞き取り、手書きでまとめていたが改善すべき。緊急の時には、個人情報に特別に扱えるような条例を成田市でつくるのはどうか。
	中郷ふるさと交流館が指定避難所になっていたが、冠水して車が通れないため避難所へ行けない。高台の赤荻保育園が良いと思う。
	避難所運営委員会が自主的に開設することとなっているが、本番になると市の担当職員は来ない。鍵もないし開けられない。自主的にやるとは言いながら、市の管轄でないとできないという状況。
	自宅から公津公民館へ避難するには遠い。
	避難所に多言語の表示が必要。
啓発活動	住民への啓蒙活動を地域へ丸投げするのではなく、市も真剣になってほしい。
	豪雨の際の避難訓練を市として教育に組み込むはどうか。閉校利用、市場の跡地、防災の面で整備するなどはどうか。
	小学校から大学まで含めて、防災・救急手当を学べるように市ですべて用意したほうが良い。
議会	台風の時になぜ議会をやっているのか。市民の代表なのだから、手分けして現場に来てほしかった。委員会を開催して、市の職員を拘束したことは初動が遅れた最大の原因。
その他	要支援者名簿のうち、訓練に参加してほしい人に参加してもらえなかったという実態がある。市はこの現状をどの程度認識しているのか。
	ハザードマップの書き換えをしてほしい。
	再度、地区の水道管の敷設について調査、対応をしてほしい。
	急傾斜地崩壊対策事業だが、5戸集まらないとできない。枠を3戸にするなど、小さな部分も補助してほしい。
	いろんな手段で情報をお願いしたい。お風呂に入れない子が学校でいじめにあう恐れ。お風呂を開放し、炊き出ししてくれたところへ市としての表彰をしてもいいのでは。